皆様の声の概要

平成十七年度～十八年度にかけて開催した市史編さん講演会および「三田市史を読む会」地理編（十七年度）・近代資料Ⅰ（十八年度）の各最終回を受講いただいた方々からお寄せいただいた主なご意見の概要です。ご回答いただいた皆様にお礼申し上げます。（　）内は参加行事名。

『三田市史』全般に関するご意見・ご要望

○通史編を一日も早く刊行して欲しい。同時に千円程度の概要判を刊行して欲しい。三田地域の歴史を市民の常識として知っておきたい人も多いと考えるので、需要があるのではないか。（十七年度読む会）

○通史編を一日も早く刊行して欲しい。平成になり三田に転居してきた市民の切なる願いである。（十七年度講演会）

○それぞれの地区ごとの歴史年表を作って刊行して欲しい。（十七年度講演会）

○市史のあり方として、装丁など重厚な本の雰囲気には納得しているが、実際に本を読む時に気軽さと相反するものを感じる。改善を望む訳ではないが、重厚さを持ちそなえ、気軽に読めるものにして欲しい。（十七年度講演会）

○頒布価格を下げて欲しい。もともと本としての原価は、現在の頒布価格を上まっているのであれば、もっと普及させるために半額以下にして欲しい。また、高齢者の需要を考えて、市史刊行事業をもっと早く完成させるべきである。（十七年度講演会）

○市史編さんについては大学の教官等が委員となり、事業が進められているが、もう少し地元の有識者等の意見も取り入れてはどうか。そうすれば、もっと身近で親しみやすい本ができるのではないか。（十七年度講演会）

講演会に対するご意見・ご要望

○私はニュータウンに住んでいるが、今回の講演会は大変参考になった。次回以降も機会があれば、出席したい。（十七年度講演会）

○講演会の場合、一人の講師の時間が四〇分は短いと思う。少なくとも一時間でないと講師の方も話がしにくいと思う。講演内容は非常に身近な問題で面白かった。（十七年度講演会）

○前回受講者への案内状を今後も送付して欲しい。（十八年度講演会）

○若い人にも興味をもてるような方法を考えていく必要があると思う。（十八年度講演会）

○講師の話は非常に興味深く聴けた。（十八年度講演会）

「三田市史を読む会」へのご意見・ご要望

○今回のような刊行された市史の「解説」を聞く機会は貴重である。

もっと幅広く広告したら、参加者が多く集まるのではないか。最終的には本の販売促進につながるのではないか。（十七年度読む会）

○初めての受講で久しぶりに学生生活に戻ったような機会を与えていただき感謝している。知る楽しみを堪能できた。（十七年度読む会）

○詳細な説明の講座でとても勉強になった。このような講座を楽しみにしている。（十七年度読む会）

○新しく転入して自分のついの住み家としてこのまちのことを少しでも早く知りたいと二年間思い続けていた。受講期間の七ヵ月は大変楽しかった。街歩きの非常に大きな参考になる。特に第四回目がよかった。ありがたく思っている。（十七年度読む会）

○講座を開いていただき、ありがたく思っている。史料に即した思考方法等が勉強になった。今回の講座は平成十七年度として終了だが、十八年度以降も続けていただきたい。大変と思うが、是非お願いしたい。（十七年度読む会）

○時間が短すぎた。（二件、十八年度読む会）

○講座数を増やして欲しい。（十八年度読む会）

○日曜日の午後に開催すれば、若い人や学生も参加しやすいと思う。（十八年度読む会）

○条件として「三田市史持参」とあるので、関心や興味があっても参加しにくい。（十八年度読む会）

○市史を読めばわかることは省略して、それ以外のことやエピソード等を説明して欲しい。（十八年度読む会）

○時間不足を感じる。開始時間を三〇分繰り上げることも検討すれば、より有意義かと思う。（十八年度読む会）

○市史を読む会を継続してほしい。（四件、十八年度読む会）

○原史料がプロジェクターで示されて興味深かった。（十八年度読む会）

市史編さん主催の事業についてのご意見・ご要望

○三田市街を歴史的観点から見るグループでの街歩きを企画していただきたい。（十七年度読む会）

○数多く講演会や講座を開いてほしい。（四件、十八年度講演会）

○『三田市史』第四巻近世資料を素材にして、出前講座をお願いしたい。（十八年度講演会）

○三田の寺社を素材にした話を聞きたい。（十八年度講演会）

○歴史に興味を持っている市民に、わかりやすく三田の歴史を話して欲しい。（十八年度講演会）